

県立図書館だより

謹賀新年

昨年は11月に新館となつてからの入館者400万人を達成する等、たくさんの県民の皆様にご利用いただきまして、誠にありがとうございました。今年も利用者の皆様の声を取り入れながら、当館をより利用しやすい空間にしていきたいと考えております。本年も秋田県立図書館をよろしく願いたします。



今月の主催事業のお知らせ

—今月県立図書館で開催される行事を紹介しませう—

第4回県立図書館おはなし会

3階多目的ホール

期日：1月8日(土) 10:30~11:30 担当：ボランティアグループ「おはなしスキップ」

申し込み・問い合わせ：子ども読書支援センター(県立図書館内)、当日参加可

TEL 018-866-0266(火・水・木・金・土 13:00~17:00)

ビジネス支援図書館シンポジウム ~図書館がつくる地域の未来~

生涯学習センター

期日：1月29日(土) 13:30~16:30(受付 13:00~)

会場：秋田県生涯学習センター 3階 講堂(秋田市山王中島町1-1)

対象：一般社会人・学生・図書館関係者等(先着100名)

内容：事例報告 新井恭子氏(足立区竹の塚図書館館長)、住田友文氏(秋田県立大学システム科学技術学部教授)

三浦廣巳氏(秋田日産自動車株式会社代表取締役社長)、松本功氏(ひつじ書房代表取締役)

パネルディスカッション コーディネーター 山崎博樹氏(国立国会図書館関西館主査)

パネリスト 新井氏、住田氏、三浦氏、松本氏(事例報告者)

申し込み：参加費は無料です。電話、FAX、E-mail(business@apl.pref.akita.jp)で県立図書館ビジネス支援担当

まで氏名・住所・電話番号をご連絡ください。また、閲覧室カウンターでも受付いたします。

県立図書館館長講座

3階多目的ホール

第6回「地方知行制の実態」

講師：県立図書館長 半田和彦

期日：1月22日(土) 10:30~12:00(時間が変更になりましたのでご注意ください)

申し込み：定員は50名、参加費は無料です。所定用紙、電話、ハガキ、ファックスでお申し込みください。定員になり次第締め切りとさせていただきます。

<2月の行事予定> 県立図書館おはなし会 第5回 2月12日(土) 場所：3階多目的ホール

今月の県立図書館小展示の紹介

—毎月テーマを決めて本の紹介をしています—

平成16年度 第9回展示 一味違う冬休み!

小中学校の冬休みにあわせて、じっくり読める本やのんびり眺める本(エッセイ、詩集、伝記、工作、手芸、料理、国際理解等に関する資料)を展示・貸出します。冬休みのない大人の方にも楽しんでいただける展示です。

期間：12月20日(月)~1月23日(日) 場所：2階閲覧室

平成16年度 第10回展示 さようなら2004年 ようこそ2005年

2004年に話題になった出来事や2005年に予定されている行事など、テーマに関連する資料を展示・貸出します。

期間：1月25日(火)~2月19日(土) 場所：2階閲覧室



県立図書館司書がお勧めする一冊

— 県立図書館の司書2人が毎回お勧めの本を紹介します —

書名 『折り紙ヒコーキ進化論』 戸田拓夫 著 NHK出版 2003

〔推薦者 吉田 孝〕

女の子はわからないけれど、男であれば誰しも一度は作った経験があるだろう折り紙ヒコーキの話である。新聞のチラシを使って何度も折って飛ばした思い出がある。先端を細くした長いものは速く遠くまで飛び、四角に近い形のもの、スピードは出ないが飛んでいる時間は長かったような気がする。飛行時間は2、3秒もあつただろうか。著者の屋内での最高記録は18.1秒であり、折った紙ヒコーキは5万機、機種は500種類に及ぶそうである。航空力学といえはやや大げさに聞こえるが、この本には、ヒコーキの飛ぶ原理、飛ばし方、使用する紙の種類などよく飛ぶための折り紙ヒコーキの条件がわかりやすく解説されている。著者が作り始めた時はもちろん、現在も折り方のテキストは非常に少ない。ここが「折り紙」と大きく異なるところである。作り方の工夫次第で記録が長くなれば、自分もハマリそうな気がする。「切らない」「貼らない」「動力なし」、そしてよく飛ぶこと。これが折り紙ヒコーキの定義だそうである。冬の間室内で試作に没頭し、春になったら大空に向け思いっきり飛ばしたらいかげしょう。



書名 『その手は命づな』 -ひとりでやらない介護、ひとりでいい老後-

横川和夫 著 太郎次郎社エディタス 2004 〔推薦者 内藤 みどり〕

総務省の推計によると、現在、日本の国民の5人に1人は65歳以上で、2024年には3人に1人が高齢者になるとみこまれています。しかし、介護の問題となると実際に当事者にならない限りは、他人事としか思えないのが現状ではないでしょうか？

この本で紹介しているのは、地域で困っている人と手助けしたい人が、ともに会員になって支え合う有償の仕組み・在宅介護支援ネットワーク『まごころヘルプ』（新潟）の活動です。2000年に介護保険制度ができましたが、ニーズの多様化に合わせ当事者が自分らしくいられる援助の仕方が市民参加の助け合いによって模索されています。介護を家族という密室に閉じこめず、介護する側、される側双方の人生を大切にするための地域の取り組みは、現在介護している人、将来親の介護が不安という人にも新しい道を示してくれています。

けいじばん

・入館者400万人を達成しました！！

県立図書館では平成5年11月2日に新館オープンして以来、平成16年11月30日で入館者400万人を迎えました。400万人目の入館者は秋田市大町の村田谷英克さん（72歳）となり、半田図書館長から記念品の図書券、大淵公文書館長から花束が手渡されました。

村田谷さんは「定年退職後、月に2～3回程度閲覧室を書斎代わりに使用させていただいているのに、大変光栄です」と話されておりました。



・県立図書館だよりのバックナンバーがホームページでご覧になれます。

県立図書館だよりのバックナンバーを、当館のホームページに掲載しましたのでご利用下さい。「トップページ」→「お知らせ、案内等」→「県立図書館だよりバックナンバー」とクリックしてお進み下さい。

1月の休館日のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	△	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 30	24 31	25	26	27	28	29

■ は休館日です。△ は館内整理日です。（月の初日、1月4日が館内整理日です。ご利用は2階閲覧室の図書の閲覧のみとなり、貸出等はいりません）

開館時間

平日 午前10時～午後8時（4月～10月）
午前10時～午後7時（11月～3月）
土日・祝日・館内整理日 午前10時～午後5時
休館日の図書の返却は、入口のブックポストへお願いいたします。